

2024 年度 第 1 回 地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会 議事録

- 1 日 時 2024 年 7 月 2 日(火) 午後 2 時～午後 4 時 15 分
- 2 場 所 明石市立市民病院本館 2 階 講義室
- 3 出 席 者 (評価委員会)
明石純委員長
伊賀文計副委員長
中田精三委員
工藤美子委員
大谷泰史委員
- 4 会議次第 (1) 開会
(2) 議事
・2024 年度スケジュール等について
・2023 事業年度に係る業務実績報告書について
・2023 年度 財務諸表等について
(3) その他
(4) 閉会

< 資料 >

資料 1 …評価委員会 2024 年度スケジュール及び評価担当について

資料 2 …2023 事業年度に係る業務実績報告書

資料 3 …2023 年度財務諸表、決算報告書

資料 4 …2023 年度事業報告書

資料 5 …監査報告書

資料 6 …中期計画・年度計画における実績値比較の推移(表・グラフ)

参考資料…業務実績に関する評価実施要領等

その他…次第、名簿、座席表

傍聴者 2 名

(1) 開会	開会の宣言 ・新たな委員の紹介、委員自己紹介 ・佐野副市長あいさつ ・法人理事長あいさつ ・委員長、副委員長選出
(2) 議事 委員長	コロナ対応後の非常に重要な時期。将来計画に耐えられる財務体質、どのような医療を提供するか、他の医療機関との役割分担、人材確保などいろいろな課題があるが、その評価が 2024 年度以降に活用できるようにとの観点を含め評価していきたい。 2024 年度の評価スケジュール等についての説明をお願いします。
市事務局	<u>資料 1</u> 2024 年度スケジュール及び評価担当について説明
委員長	2023 事業年度業務実績等について、法人からの説明をお願いします。
法人	<u>資料 2</u> 2023 事業年度業務実績報告書（法人の自己評価を含む）について説明。
委員長	5 段階評価について説明。 次回もあるので、本日は、記載について質問及び確認事項等があれば、発言をお願いします。
委員	3 が多いが、4 とか 2 の評価は、数字に裏付けられた 4 なのか、頭で考えた 4 なのか判断基準がわかりにくい。
委員長	数字で表せるところはわかりやすいが、質的または具体的内容により評価するところとある。昨年度も検討事項となり、実績報告内容をより具体的に、法人に改善を求め、一部改善されたが、まだ十分ではない部分もある。今年度もわかりにくいところをご指摘いただきながら改善していけばいいかと思う。
委員	乳がんの専門医雇用について、2024 年度から新体制とあり、2023 年度の評価としてはどうか。4 と自己評価したポイントとして、診療体制の現状を聞きたい。また、認定看護師の同行訪問について、具体的に聞きたい。
法人	乳腺外科専門医の採用について、診療は今年度からだが、専門医の確保という前年度の取組も含め評価した。
委員	オペ件数が増えたことを評価した 4 と思ったが、状況は理解した。同行訪問の状況についてはどうか。
法人	皮膚排泄ケアの認定看護師がストマ関連、創傷管理関連、褥瘡関連に行っている。また、地域の訪問看護ステーションからの依頼で、入退院を繰り返すような出血性皮膚潰瘍や、診療報酬は期待できないが呼吸管理のためクリニカルケアの認定看護師が訪問している。
委員長	他にどうか。

委員	皆さんが重要と考えているところを評価したいが、主な取組について下線などを引いて、分かりやすいように工夫してもらえるとありがたい。
委員長	他はいかがか。
委員	『役員の責務』で、監査報告書に、「経営管理機能の充実、役員の責務、記載の問題に留意する以外に不正の行為又は法令等に違反する重大な事実は認められません。」とあるが、法令や不正の行為または法令に違反する重大な事実があったのかなかったのか。差し支えない範囲で2を付けた理由を教えてください。
法人	前年度、理事長、副理事長、院長の3者で協議する体制が4月から始まった。院長から新理事長となった後も、本来院長が担う毎週のコロナ会議等の運営も行うなど、院長業務の引継ぎが十分できておらず、役員の役割分担がはっきりしない中、最終的にそれぞれの役割が果たせなかった。経営に支障をきたすまではいかないが、少なくとも意思決定が遅れたという点で評価を2とした。
委員長	私の客観的な認識だが、経営＝（重大な）意思決定。小さなことは現場で決定するが、経営と意思決定はほぼ同じで、上層部で決定する。決定が一番大事であり、この点について、意思決定は遅れたが経営に差しさわりなしというのは少し違和感がある。今後どうされるのか考える必要がある。まず意思決定を全うできるように。この点は次回に検討を。他にないか。
法人	資料3 財務諸表、財務状況について説明。
委員長	確認点、質問いかがか。
委員	コロナ補助金等がなくなり収益が下がったが、一度上がった費用、固定費がそのまま昨年度は赤字。これまで黒字だったが経常収支が赤字。減価償却費を除きキャッシュベースではそれなりにある。業績評価とどう関係づけるかは考えるところである。
委員長	この評価委員会は市の附属機関で、運営費負担金については、市民のための必要な医療を担保する必要があるが、市民の税金であるので、非常に重要であるが、建替えのための体力という点でも、最も重要なのは、医業収支である。2022年度は病床確保料、診療報酬の特例加算で大きな経常収益が出たが、5年度はそれが大幅に減った。独立行政法人は医業収支に運営費負担金も入る。要するに、負担金、診療報酬の特例を除いて、19年度以前の医業収支と比較しどこまで戻っているかが一番重要。そのあたり計算されているか。
法人	資料に基づき、医業収支、特例加算、運営費負担金等の内訳を説明。
委員長	それらを除いた医業収支の比較はどうか。
法人	2023年度はマイナス11億2400万円、2019年度はマイナス6億1800万

	円、2018 年度はマイナス 7 億 5100 万円。
委員長	現状でも特例加算等を除いた経常収支レベルでは数億円の赤字である。これから建替えを目指して財務的体力をつけるには医業収支レベルで改善していく必要がある。公立病院は、政策医療、不採算医療は運営費負担金を充当する。全国的にも医業収支だけの黒字は厳しいと思うが、医業収支のレベル赤字を抑えれば、営業収支として黒字になり、内部留保しながら次の建替えを目指すことができる。法人は返済分の利益を出さないといけない。昨年も言ったが、修正医業収支をきっちりとチェックする必要がある。
委員	営業費用が、2015 年度は 79 億円、人件費 42 億円だったのが、10 年たった 2023 年度は営業費用 86 億円、人件費 49 億円まで増えている。営業費用が上がっているにも関わらず医業収益そのものが、特例加算等を差引き 75 億円に増えているだけなので、将来的対策を真剣に考えないといけないと思う。
法人	ご指摘のように、コロナ禍、2020 年度から追加雇用や賃金増を行ったが、医業収益にほとんど繋がっていない。組織の若返りを図るなど、給与体系の見直しも含め相当工夫が必要。自治体病院として雇用の継続は必要となるため、採用についてもより慎重に取り組むべきと考えている。
委員	給与費以外にも、水道光熱費、物価全体が高騰しており、それに対応するためにすべての努力を傾けないと難しいと思う。
法人	ご指摘の通り、光熱エネルギー費も上がった。各病院、LED 化や電気会社変更などしているが根本的な解決につながっていないと聞く。何らかの対応が必要と考えている。
委員長	診療報酬の仕組み上、収入は上がらない。人件費率の削減が重要だが、職員のモチベーションが下がりがねない。労働生産性が公立と民間の病院と違う。労働生産性とは、収入に対してどれだけ経費をかけるかということだが、同じ成果でも過剰労働ではなく効率的に働いている。無駄をなくす。それと原価計算、運営費負担金を何に使うのかということ。民間は採算の取れない診療科はなくしたりする。その不採算医療や、保険診療ではない政策医療について適切な原価計算をしてほしい。
委員	市民病院として不採算部門でも実施しなければならない中で、経営改善していくのは非常に難しい。個人の病院なら手を出さない。それでもやっていかなければならないことを考えながら政策を進めていってほしい。
法人	コロナ対応で通常診療が抑制された、2022 年度は特例加算、救急医療管理加算等で約 23 億円がコロナ関連のプラスだが、実際の感覚では減収。コロナ加算が終わったが受診抑制もあり病床の稼働が上がりにくい状況で工夫が必要。原価計算については、少なくとも手術等診療行為別の原価

	計算は行うべきと考えている。
委員	不採算医療、政策医療に関して、中期計画で上げているが、実績報告で具体的な記載がない。もう少し明らかにしていただきたい。
法人	採算・不採算については数字として出す必要があると考えている。
委員長	本日は時間のため、ここで審議を終わりにしたい。 次回評価委員会について、非公開とすることを確認。
(3) その他 市事務局	次回評価委員会の開催案内及び、評価のとりまとめ方法について説明。
(4) 閉会	以上を以て、第1回評価委員会を終了する。